

令和元年度 津市地域防災計画（資料編）の修正箇所一覧表（案）

No.	頁	行	旧	新												
1	338	1	5 4 収集する情報（予報及び警報等）の種類（危機管理部） (1) 略 (2) 地震関係 ア 略 イ 略 ウ 南海トラフ地震に関連する情報の種類 <table><tr><th>情報名</th><th>情報発表条件</th></tr><tr><td>南海トラフ地震に 関連する情報（臨時）</td><td>○南海トラフ沿いで異常な現象※1が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。 ○観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合。 ○南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合。</td></tr><tr><td>南海トラフ地震に 関連する情報（定例）</td><td>○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」※2の定例会合において評価した調査結果を発表する場合。 （新設）</td></tr></table> ※1 南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合や東海地域に設置されたひずみ計に有意な変化を観測した場合などを想定 ※2 南海トラフ全域を対象として地震発生の可能性を評価するにあたって、有識者から助言いただくために開催	情報名	情報発表条件	南海トラフ地震に 関連する情報（臨時）	○南海トラフ沿いで異常な現象※1が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。 ○観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合。 ○南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合。	南海トラフ地震に 関連する情報（定例）	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」※2の定例会合において評価した調査結果を発表する場合。 （新設）	5 4 収集する情報（予報及び警報等）の種類（危機管理部） (1) 略 (2) 地震関係 ア 略 イ 略 ウ 南海トラフ地震に関連する情報の種類 <table><tr><th>情報名</th><th>情報発表条件</th></tr><tr><td>南海トラフ地震臨時情報</td><td>○南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合又は調査を継続している場合。 ○観測された異常な現象の調査結果を発表する場合。 (削除)</td></tr><tr><td>南海トラフ地震関連解説情報</td><td>○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし、南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く。）。 ○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合。 (削除) (削除) 情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表されます。</td></tr></table>	情報名	情報発表条件	南海トラフ地震臨時情報	○南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合又は調査を継続している場合。 ○観測された異常な現象の調査結果を発表する場合。 (削除)	南海トラフ地震関連解説情報	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし、南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く。）。 ○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合。 (削除) (削除) 情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表されます。
情報名	情報発表条件															
南海トラフ地震に 関連する情報（臨時）	○南海トラフ沿いで異常な現象※1が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。 ○観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合。 ○南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合。															
南海トラフ地震に 関連する情報（定例）	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」※2の定例会合において評価した調査結果を発表する場合。 （新設）															
情報名	情報発表条件															
南海トラフ地震臨時情報	○南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合又は調査を継続している場合。 ○観測された異常な現象の調査結果を発表する場合。 (削除)															
南海トラフ地震関連解説情報	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし、南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く。）。 ○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合。 (削除) (削除) 情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表されます。															

No.	頁	行	旧	新										
				<table><tr><th>キーワード</th><th>各キーワードを付記する条件</th></tr><tr><td>調査中</td><td>下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合 ○監視領域内（下図黄枠部）でマグニチュード6.8以上※1の地震※2が発生 ○1カ所以上のひずみ計※3での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界（下図赤枠部）で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ○その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測</td></tr><tr><td>巨大地震警戒</td><td>想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード※4 8.0以上の地震が発生したと評価した場合</td></tr><tr><td>巨大地震注意</td><td>○監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震※2が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く。） ○想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合</td></tr><tr><td>調査終了</td><td>（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合</td></tr></table>	キーワード	各キーワードを付記する条件	調査中	下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合 ○監視領域内（下図黄枠部）でマグニチュード6.8以上※1の地震※2が発生 ○1カ所以上のひずみ計※3での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界（下図赤枠部）で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ○その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測	巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード※4 8.0以上の地震が発生したと評価した場合	巨大地震注意	○監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震※2が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く。） ○想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合	調査終了	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
キーワード	各キーワードを付記する条件													
調査中	下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合 ○監視領域内（下図黄枠部）でマグニチュード6.8以上※1の地震※2が発生 ○1カ所以上のひずみ計※3での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界（下図赤枠部）で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ○その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測													
巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード※4 8.0以上の地震が発生したと評価した場合													
巨大地震注意	○監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震※2が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く。） ○想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合													
調査終了	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合													

No.	頁	行	旧	新
				想定震源域内（科学的に想定される最大規模の南海トラフ地震の想定震源域（中央防災会議、2013）のプレート境界部（図中赤枠部）と監視領域（想定震源域内および想定震源域の海溝軸外側 50km 程度：図中黄枠部） ※1 モーメントマグニチュード 7.0 の地震をもれなく把握するために、マグニチュードの推定誤差を見込み、地震発生直後の速報的に求めた気象庁マグニチュードで M6.8 以上の地震から調査を開始します。 ※2 太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除きます。 ※3 当面、東海地域に設置されたひずみ計を使用します。 ※4 断層のずれの規模(ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ)をもとにして計算したマグニチュードです。従来の地震波の最大振幅から求めるマグニチュードに比べて、巨大地震に対してもその規模を正しく表せる特徴を持っています。ただし、このマグニチュードを求めるには若干時間を要するため、気象庁が地震発生直後に発表する津波警報等や地震速報には、地震波の最大振幅から求められる気象庁マグニチュードを用いています。 (3) 略

(3) 略

(3) 略